

# 常任委員会行政視察報告

## 行政視察報告

### 総務常任委員会

## オフトーク通信で防災情報

鹿児島県熊毛郡屋久町  
平成 16年 10月 4日 ~ 6日



屋久島ガジュマル公園

鹿児島県熊毛郡屋久町の広域消防  
広域救急、オフトーク通信施設を視  
察した。上屋久町は島の北西部に位  
置し、九州最高峰宮之浦岳1936  
mをはじめ、1000m以上の山々  
が連なり、亜熱帯から亜寒帯まで

至る、沖縄から北海道までの植物の  
種類がほとんど生息する島である。  
この町の消防は、昭和63年4月に  
種子島と屋久島の2島合せた1市4  
町で熊毛広域消防組合を発足させ、  
4万9千人を対象としている。消防  
職員は85人で、消防・防災・救  
急を業務としているが、点在し  
た島国であり、急を要する業務  
に迅速に対応出来ず、また職員  
の合理化や設備の充実が困難で  
あるとのことであった。オフト  
ーク通信は、住民の各家庭とN  
TTの電話回線を有線で結び、  
各家庭に町のできごとや防災に  
関する事項等を知らせるシステ  
ムである。この行政視察を今後  
町発展のために有効に活かした  
く、決意を新たにした。

参加者

- 委員長 村田 昭
- 副委員長 桑原 米蔵
- 委員 藤井 忠則
- 吉川 毅一
- 福田 吉彌
- 佐伯 靖彦

### 産業建設常任委員会

## 年間400万人が訪れる湯布院町

大分県安心院町  
平成 16年 10月 26日 ~ 28日



湯布院町にて

安心院町のグリーンツーリズムは  
農家だけの問題ではなく全町的な町  
づくりとして捉え、農家民宿に向け  
た官民協働の安心院型グリーンツー  
リズムを国の推進政策に支えられな  
がら、地域活性化のキーワードとし  
て取り組まれている。民宿での体験  
研修は75才の夫婦が営む築100年  
の古い家に年間400人以上が訪れ  
る。民宿経営の苦労話やその生き甲  
斐等について伺い、楽しい一日を体  
験した。



湯布院駅前

こり、建設計画を阻止し湯布院の自然  
環境景観を守る為、昭和47年に自然環  
境保護条例を制定したことによって、  
建物の高さ等が制限され景観に調和し  
町並みも美しく年間400万人も観光  
客が訪れている。年々増加傾向に伴い  
旅館や商店の数も増え活気ある町であ  
った。

今回の視察は各委員からの質問も活  
発に出て、体験もでき実り多い研修で  
あった。

参加者

- 委員長 澤崎 正義
- 副委員長 岡本 行男
- 委員 舟橋 貴之
- 坂井 立朗
- 中川 光久
- 高嶋 清光

### 文教厚生常任委員会

## 女性の平均寿命日本一の豊見城市

とみくすく  
沖縄県豊見城市  
平成 16年 10月 27日 ~ 29日

健康アドバイザーの説明(豊見城市市役所)



平成15年1月厚生労働省から  
女性の平均寿命89.2才で日  
本一と発表された豊見城市は、  
12年に厚生労働省の「健康づく  
り創造プラン」のモデル指定を  
受け、健康文化都市を目指すた  
めのプランを作成した。沖縄の  
人は肥満が多いので、肥満対策  
に向けての市内ウォーキングマ

ップを作成、健康教育を重点に  
実施している。年代別に見る病  
気の進行度やスライドを使って  
今話題の中高年の生活習慣病か  
ら来る肥満、働きざかりを巻き  
込む糖尿病など、予防対策の詳  
しい説明をうけ、健康第一で生  
き生きとした人生を送らなけれ  
ばと痛感した。具志川市は平成  
11年にプロジェクトチームを発  
足し、「環境にやさしい癒しの  
まちづくり」の理念のもと、EM  
を活用したまちづくりを進め  
ている。地域住民への環境浄化  
への意識の高揚を図るため、EM  
による環境浄化モデル地区を  
立ち上げ、生ゴミの堆肥化及び  
廃油の石鹸づくりなどの推進、  
また行政の取組みとして、各学  
校プールでは、コンクリートや  
る過器、塗料等にEMを活用す  
ることにより、塩素による各種  
弊害を抑制していると説明され  
た。町としても今後参考になる  
点を多く聞き、一同熱心に学習  
し、有意義な行政視察を終える  
ことが出来た。

参加者

- 委員長 米田 俊信
- 副委員長 町田 信子
- 委員 窪田 一誠
- 村井 隆夫
- 土肥 洋之
- 岡本 宣宏

## 行政視察報告